

2016年(平成28年)7月14日 木曜日

岐 卓 新 聞



飛騨の地酒、世界で栄誉

「地元で長い間、晩酌用として愛されてきた酒が世界に認められた」と語るのは、創業146年の老舗造り酒屋渡辺酒造店(飛騨市古川町老之町)の渡辺久憲社長(47)。7日にロンドンで開かれた世界最大級のワイン品評会

近況

「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」のうち、日本酒を審査するSAKE部門で、同店が出品した普通酒の「小町桜」が、手頃な価格で最も良質な酒に贈られる「グレートバリュー・アワード」を受賞した。

小町桜は、ミネラル豊富な伏流水と酒米のひだほまれで仕込んだ生粋の地酒。後味がすっきりしたタイプで、創業時から販売している。同アワードは年間10万本以上生産され、小売価格が千円以下であることが条件。「飛騨人に育ててもらった大事な酒。感謝の思いでいっぱい」と喜ぶ。